



Q 入学者選抜を受けるために、特別な勉強は必要ですか？

A 入学者選抜は、適性検査、面接、調査書を組み合わせて行います。ふだんの授業や日常生活を通して身につけた力、学習に対する意欲などを総合的にみるので、特別な勉強をする必要はありません。

Q 併設中学校卒業後、併設高等学校(三本木高校)以外の高校に入学できますか？

A 高校入試を受けて合格すれば、三本木高校以外の高等学校に入学できます。しかし、併設型中高一貫教育は6年間を見通した継続的な学習を行うことを特色としていますから、入学を希望する前に自分の将来をよく考えておきましょう。

Q 併設高等学校(三本木高校) 理数科に入学できますか？

A 三本木高校は平成22年4月にすべて普通科の学校となる予定ですので、平成19年度に県立中学校に入学する生徒は、三本木高校普通科に進学することになります。

Q 定員や通学区はどうなりますか？

A 併設中学校の定員は1学年2クラス80人です。通学区は県内全域となります。なお、スクールバスや寄宿舎はありません。

Q 入学のためにかかる費用はどのくらいですか？

A 他の市町村立中学校と同様に授業料や教科書代は必要ありません。ただし、入学者選抜手数料として、2,200円分(予定)の青森県収入証紙が必要です。

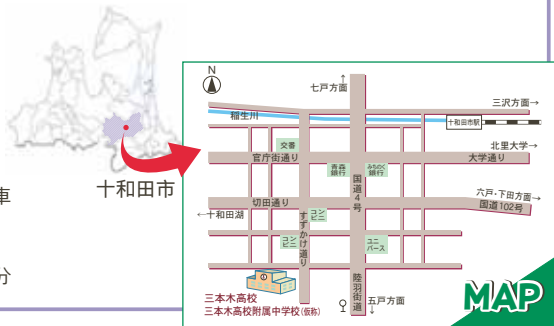
Q 開校までのスケジュールはどうなっているのですか？

A 平成18年7月頃に県内数ヶ所で説明会を行い、入学者選抜の方法などについて説明する予定です。(説明会の日時や場所については、後ほど小学校を通じてお知らせします。)出願期間は11月上旬、入学者選抜は12月上旬、選抜結果の通知は12月下旬に行い、平成19年1月末までに入学予定者を確定する予定です。

青森県立三本木高等学校・青森県立三本木高等学校附属中学校(仮称)

■ 所在地
〒034-0085
青森県十和田市西五番町7-1
TEL 0176-23-4181 FAX 0176-25-3868

■ アクセス
十和田観光電鉄 十和田市駅下車
十和田観光電鉄バスに乗り換え
三本木営業所行き乗車
三本木高校前下車徒歩2分



いっしょだから未来がみえる
いっしょだから気持ちわかる

併設型中高一貫教育



中学生と高校生が同じ校舎で学びます

平成18年4月
青森県教育委員会

問い合わせ先

青森県教育委員会

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1
県立学校課管理・改革グループ
TEL 017(734)-9881

6年間の一貫教育であなただの夢の実現を応援します。

平成19年
4月開校

県立三本木高等学校附属中学校(仮称)

教育目標

6年間を見通した計画的・継続的な指導をとおり、真の国際人として未来社会の進展に貢献できる人材を育てる。

教育の特色

基礎・基本の 確実な定着

- I 発達段階に応じた授業時間の設定
- II 少人数指導
- III 中高教員によるチームティーチング
- IV 6年間を見通した*シラバスに基づく授業

問題解決能力、コミュニケーション能力の育成

- I 数理分野の力を伸ばす特色ある教科
応用数学 実験理科
- II コミュニケーション能力を育てる特色ある教科
英語表現 国語表現
- III 英語合宿

豊かな心と高い志の育成

- I 思いやりと感動する心を育てる体験活動
耐久遠足
森の生活体験合宿
- II 自らの生き方を考察する人間探求プログラム
- III 異年齢交流で共に学び生きる力を育てる
体育祭 文化祭 部活動

*シラバス

各教科・科目について、学習目標、学習内容や評価方法を整理した年間学習計画であり、生徒が見通しを持って学習できるようにするための「学習の手引き」としても活用されています。



身につける3つの力

1

自らの力で開拓・創造する力
サイエンス

2

自国の文化・伝統を理解し、世界に発信する力
コミュニケーション

3

広い視野で物事を考え、行動する力
ヒューマニティ

- 県立三本木高等学校と接続して、一体的な教育を行います。
- 定員は1学年2クラス80人です。
- 併設中学校への入学は適性検査、面接、調査書による入学者選抜により決定します。
- 併設中学校から併設高等学校へは、高校入試なしで入学できます。

県立三本木高等学校

教育目標

真理と学問を尊重し、心身ともに健康で、国際社会に寄与すべき、積極有為な人材を育成する。

- ◇ 平成18年度に創立80周年を迎え、規律ある進学校として地域とともに歩んでいます。
- ◇ 勉学、スポーツ、文化活動に「文武両道」の情熱を燃やし続けています。
- ◇ ほとんどの生徒が大学等への進学を目指しています。
- ◇ 平成17年度には県高等学校総合体育大会で2回目の友情杯を獲得しました。(女子総合準優勝)



新渡戸稲造の像
(十和田市 太素塚)

新渡戸稲造は、三本木原(現在の十和田市)開拓の祖と言われる新渡戸傳の孫で、国際連盟事務局次長を務めるなど、国際平和のために力を尽くしました。

県立三本木高等学校は、稲造が示した国際貢献の精神を教育目標に取り入れ、国際社会に寄与できる生徒の育成をめざしています。

